

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

「みんなで残したい松江の景観400選集」から
景観審議会が特にお薦めする景観

旅館美保館本館

No. 122

古くから美保関は海上交通の要所として栄えてきました。かつて廻船問屋が軒を連ねた青石畳通りは美保神社に続く参道でもありました。この青石畳通りに面して建つのが老舗旅館の美保館です。

推薦いただいた美保館本館は、明治41(1908)年に建築された2階建ての建物で、木材を複雑に組んだ数奇屋風の造りです。通りに面した北側には軒唐破風付きの庇があり、中庭をガラスの天井をつけて改築したロビーは、

屋根の瓦や雨どいなどをそのまま残し、室内にいながらの雰囲気を感じながら不思議な空間となっています。お天気のいい日は明るい光が降り注ぎ、雨の日や夜間も橙色の明かりが温かな風情を感じさせてくれます。今年、新



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索



たに設置されたバーカウンターでは、お酒を楽しみながら語らうこともできます。

また、窓や欄間、句が書かれた障子など、先人の高度で繊細な技と遊び心が建物の随所に施されています。

美保館は本館、旧本館が平成16年に登録有形文化財に登録されています。未来へ残したいと多くの人々に愛される美保館に、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。